

django.contrib.humanize

Djangoには標準でdjango.contrib.humanizeというフィルタセットが存在しており、この機能を利用することでHTMLに表示される各種データの形式をカスタマイズすることができます。

以下のようなカスタマイズを行うことができます。

- 1-9 の数字に対して、数をアルファベットで表す。
(例： **1** → **one**, **2** → **two**)
- 整数または浮動小数点数（またはそのいずれかの文字列表現）を、3桁ごとにカンマを含む文字列に変換
(例： **4500** → **4,500**)
- 大きな整数（または整数の文字列表現）をわかりやすいテキスト表現に変換。
(例： **1000000** → **1.0 million**)
- 今日、明日、昨日に該当する日付をそれぞれ**today**（今日）、**tomorrow**（明日）、**yesterday**（昨日）に変換する。
- datetime 値に対して、何時間（分、秒）前であったかを表わす文字列に変換
(例： **17 Feb 2007 16:25:35** → **4 minutes ago**)

設定手順

設定手順は非常に簡単です。

まず、settings.pyの INSTALLED_APPSに '[django.contrib.humanize](#)' を追加します。

```
1 INSTALLED_APPS =
2     ('django.contrib.admin',
3      'django.contrib.auth',
4      'django.contrib.contenttypes',
5      'django.contrib.sessions',
6      'django.contrib.messages',
7      'django.contrib.staticfiles',
8      'django.contrib.humanize',
9 ]
```

次に、テンプレートファイル内の頭に以下を追加します。

[{% load humanize %}](#)

事前準備は以上の2点だけです。

あとは、表示形式を変更したい部分にフィルタを適用していきます。

この記事では以下のようなモデルを前提に説明します。

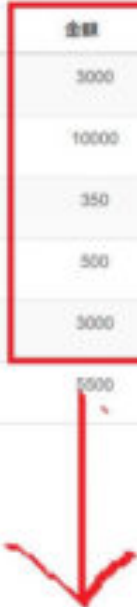
```
1 class Kake
2
3     class
4
5         ve
6         ve
7
8     #カラム
9     date =
10    categ
11    money
12    quanti
13    memo =
14    regist
15    def _
16    re
```

数字を3桁表示に変更したい場合

金額項目の表示を3桁区切りに変更したい場合は、**intcomma**フィルタを利用します。

テンプレート内の設定を以下のように変更します。

`{{ item.money }}` → `{{ item.money | intcomma }}`円



10	▼ 件表示	検索				
日付	品	カテゴリ	金額	数量	合計金額	
2018年10月11日		食費	3000	1	3240	
2018年10月11日		雑費	10000	1	10600	
2018年10月16日		交通費	350	3	1134	
2018年10月1日		食費	500	5	2700	
2018年10月31日		食費	3000	1	3240	
2018年10月31日		電話代	5500	1	5940	

10	▼ 件表示	検索				
日付	品	カテゴリ	金額	数量	合計金額	
2018年10月11日		食費	3,000円	1	3240	
2018年10月11日		雑費	10,000円	1	10600	
2018年10月16日		交通費	350円	3	1134	
2018年10月1日		食費	500円	5	2700	
2018年10月31日		食費	3,000円	1	3240	
2018年10月31日		電話代	5,500円	1	5940	

上記設定を行っても3桁区切りで表示されない場合は、`settings.py`に以下の設定を追加してみてください。

`NUMBER_GROUPING = 3`

桁数の多い数字の表示形式をカスタマイズしたい場合

桁数が多い数字を省略して表示したい場合は、**intword**フィルタを利用します。

{{ item.quantity }} → {{ item.quantity|**intword** }}



日付	品	カテゴリ	金額	数量	合計金額
2018年10月11日		集費	300,000,000円	1	324000000

日付	品	カテゴリ	金額	数量	合計金額
2018年10月11日		集費	300,000,000円	1	324.0 ミリオン

これはちょっと微妙な感じですかね。

日付の形式をカスタマイズしたい場合

直近の日付に対して、「今日、昨日、明日」といった文字列に変換したい場合は、**naturalday**フィルタを利用します。

前日分のレコードだけチェックしたいようなケースでは、視覚的にわかりやすくなるので人にやさしいデザインになると思います。

{{ item.date }} → {{ item.date|**naturalday** }}

日時	カテゴリ	金額	数量	合計金額
2019年5月18日	食費	3,000円	1	3240
2019年5月17日	食費	3,000円	1	3240
2019年5月16日	食費	500円	3	1620

日時	カテゴリ	金額	数量	合計金額
昨日	食費	500円	3	1620
明日	食費	3,000円	1	3240
今日	食費	3,000円	1	3240

何時間（分、秒）前であったかを表わす文字列に変換したい場合

時刻表示に対して、現在を基準にどれだけ前を表すかを直感的に表したい場合は **naturaltime** を利用します。

ブログの更新時刻や、コメントの更新時刻などに適用すると直感的に更新タイミングを理解できるので人にやさしい設計になりますね。

`{{ item.regist_date }}` → `{{ item.regist_date|naturaltime }}`

日時	カテゴリ	金額	数量	合計金額	メモ	更新日時
2019年5月16日	食費	500円	3	1620	吉牛	2019年5月14日4:08
今日	食費	1,111円	0	0	test	2019年5月17日4:12
2019年1月31日	電話代	5,000円	1	5400	携帯	2019年5月18日1:08
2018年10月11日	雑費	10,000円	1	10800	パチンコ	2019年5月18日4:08

日時	カテゴリ	金額	数量	合計金額	メモ	更新日時
今日	食費	1,111円	0	0	test	1 日前
2019年1月31日	電話代	5,000円	1	5400	携帯	3時間前
2019年5月16日	食費	500円	3	1620	吉牛	4 日前
2018年10月11日	雑費	10,000円	1	10800	パチンコ	5分前

他にも若干ですがカスタマイズの種類がありますので、詳しく知りたい方はDjango公式ドキュメントをチェックしてみてください。